

令和4年度

## 経営発達支援事業 評価・見直し結果報告書

1. 評価機関名 美深町商工会 経営発達支援委員会
2. 開催日時 令和 5年 3月23日(木)
3. 開催場所 SUN21 中会議室
4. 出席者
- |         |                |       |          |
|---------|----------------|-------|----------|
| (1) 委員  | 美深町商工会         | 会長    | 山崎晴一     |
|         | 美深町商工会         | 副会長   | 中西忠幸     |
|         | 美深町商工会         | 副会長   | 遠藤伸浩     |
|         | 美深町商工会商業部会     | 部会長   | 高附秀文     |
|         | 美深町商工会工業部会     | 部会長   | 齊藤宏行     |
|         | 美深町商工会サービス部会   | 部会長   | 佐竹 仁     |
|         | 美深町商工会女性部      | 部長    | 志賀美恵子    |
|         | 美深町観光協会        | 会長    | 齊藤宏行(兼務) |
|         | 美深町役場総務課企画グループ | 主幹    | 小野勇二     |
|         | 北洋銀行美深支店       | 支店長   | 堀 瑞絵     |
|         | 北星信用金庫美深支店     | 支店長   | 関下英明     |
| (2) 事務局 | 美深町商工会         | 事務局長  | 渡辺美由紀    |
|         | 美深町商工会         | 経営指導員 | 山本真悟     |
| (欠席)    | 美深町商工会青年部      | 部長    | (欠員)     |

5. 内容

定刻となり、事務局が開会を宣し、山崎商工会長が開会挨拶を行った後、議事に入る。

(1) 経営発達支援計画及び伴走型小規模事業者支援推進事業について

事務局は、認定を受けた経営発達支援計画及び令和4年7月29日に採択を受けて実施した伴走型小規模事業者支援推進事業の概要説明を行った。

(2) 令和4年度事業報告について

事務局は毎年度、認定計画の実施状況を国へ報告すること及び経営発達支援事業の評価・見直しを行う仕組みとして、本委員会によりPDCAを機能させていくことを説明した。

令和4年度において、経営発達支援事業を推進していく為に実施した伴走型小規模事業者支援推進事業の実施状況は以下のとおり。

## ①地域の経済動向調査に関すること

### <取組内容>

地域経済産業調査、最近の経済動向、中小企業景況調査、全国中小企業動向調査へ掲載された情報を収集分析し、巡回訪問時に情報提供を行った。

- ・地域の経済動向調査分析・公表回数 目標：1回 実績：1回 評価：A

### <検証結果>

巡回訪問等において分析した資料の提示を行うことで、事業所に地域の状況を理解していただくことができた。商工会の広報紙やホームページなどを積極的に活用して情報を提供する方法等を更に活用していく。

引き続き、最新の地域情報を収集分析し、小規模事業者が直面する経営課題解決に向けた事業計画の策定を支援する。

## ②需要動向調査に関すること

### <取組内容>

域外・域内への販路開拓を目指し、経営分析および事業計画を策定し事業者が取り扱う新商品や既存商品について、アンケート調査を実施した。域外へ販路開拓を目指す小規模事業者に対しては、販路開拓イベントにおいて、試食等により来場者アンケートを行った。域内での需要開拓を目指す小規模事業者については、配布した広告物からECサイトへ誘導した来店者（購入者）を対象にアンケート調査を実施した。

- |                      |        |        |       |
|----------------------|--------|--------|-------|
| ・バイヤー向けヒヤリング調査対象事業者数 | 目標： 2件 | 実績： 3件 | 評価： A |
| ・消費者向けアンケート調査対象事業者数  | 目標： 2件 | 実績： 3件 | 評価： A |
| ・域内需要動向調査対象事業者数      | 目標： 7件 | 実績： 7件 | 評価： A |

### <検証結果>

回収したアンケートやヒヤリング調査の内容を商工会で集計・分析を行い、その結果を当該事業者に対してフィードバックを行った。域外需要開拓指向の事業者については、事業計画のブラッシュアップや再策定、商品の改善改良に活用できるよう支援した。域内需要開拓指向の事業者については、事業計画の策定や策定済計画のブラッシュアップ、再策定により、商品の改善改良のほか、広報物やECサイトを含むITの活用など、強みを活かした出口支援の提案に活用した。

また、今後の事業承継に対する事業継続予定、後継者の有無、事業承継に向けた具体的な準備、第三者への事業譲渡を含む事業承継への考え方等について調査分析し、小規模事業者へ情報を提供した。

引き続き調査結果の活用により、域内・域外需要開拓指向の事業者ともに、多様な消費者ニーズに対応し、販路の拡大とリピーターの確保に繋げるよう支援する。

### ③経営状況の分析に関すること

#### <取組内容>

ヒヤリングシートを用いて巡回訪問による調査を行った事業所や、確定申告等決算を行った事業所、及び融資・新規創業・各種補助申請に必要な事業計画策定を行う小規模事業者に対し、経営分析と財務分析を実施した。また、「ネット de 記帳」など分析ツールを活用した財務分析、外部専門家と連携した経営分析を行った。

・経営分析事業者数	目標：20件	実績：20件	評価：A
・個別相談会開催件数	目標：5件	実績：5件	評価：A

#### <検証結果>

これらの取り組みを通し、小規模事業者が抱える景況、財政、人材、後継者等に対する様々な問題を把握することができた。年4回定期的に巡回訪問を行い、この情報を重要資料として活用することで、小規模事業者に対して深く入り込んだ支援や今後の事業展開に有効な事業計画の策定に結びつけることができた。

引き続き、巡回時のヒヤリングや決算データの把握を通じて事業計画策定の重要性について理解をしてもらい、自社の経営状況を踏まえた事業計画策定に結びつくよう支援する。

### ④事業計画策定支援に関すること

#### <取組内容>

小規模事業者の持続的発展のためには、事業計画に基づいて経営を行うことが必要不可欠であるため、事業計画策定の意義や重要性について理解を深めてもらうとともに、地域の経済動向や需要動向、経営状況分析などを踏まえ、財務面・非財務面両面の経営分析を行った全ての事業者の事業計画策定を支援した。

小規模事業者に対し、事業計画策定の意義や重要性を漠然と述べても、実質的な行動や意識変化を促せる訳ではないため、経営分析の段階から、窓口相談、巡回訪問、補助金申請や融資相談時に職員によるヒヤリングシート等の活用により事業者の経営課題を洗い出し、簡易的な定性面の分析を行うことで事業者の意欲を高め、積極的に計画策定に取り組む事業者を発掘した。

・DX推進セミナー開催数	目標：1件	実績：1件	評価：A
・事業計画策定支援数	目標：18件	実績：18件	評価：A
・創業計画策定支援数	目標：1件	実績：1件	評価：A
・事業承継計画策定支援数	目標：1件	実績：1件	評価：A
・個別相談会開催数	目標：5件	実績：5件	評価：A

#### <検証結果>

策定セミナー受講者のうち、新規創業や事業承継及び事業の見直しを目指した事業者が個別支援を受け、事業計画の策定を行った。策定した事業計画をもとに、美深町が制定した創業・事業承継・多角化に関する助成制度「商工業担い手支援条例」を活用すべく行政に計画書を提出した。

また、事業承継に対する支援策である「商工業担い手支援条例」を活用した事業計画を策定することにより事業承継を円滑に行い、小規模事業者の経営安定を図ることができた。しかし、後継者不足の問題から親族間における事業承継が難しくなっており、従業員や第三者等への事業譲渡も視野に入れた中長期的な計画を策定できるかどうかは課題である。

引き続き、新規創業や事業多角化、事業承継をはじめ事業の持続的発展のための事業計画策定に向けた支援を継続する。

## ⑤事業計画策定後の支援に関すること

### <取組内容>

事業計画を策定した全事業者を対象とし、事業計画の進捗状況等により訪問回数を増やして集中的に支援すべき事業者と、ある程度順調と判断し訪問回数を減らしても支障ない事業者を見極めた上で、フォローアップ頻度を設定した。進捗状況に応じ、順調な事業者に対しては各種補助金・融資斡旋等の施策を活用し、計画の実現化に向けた支援を実施し、停滞している場合には内部・外部環境等を再確認し原因究明を図り、必要に応じて専門家及び支援機関と連携し、事業計画の再策定を含めた支援を実施した。

・事業計画フォローアップ企業数	目標：18件	実績：18件	評価：A
・創業計画フォローアップ企業数	目標：1件	実績：1件	評価：A
・承継計画フォローアップ企業数	目標：1件	実績：1件	評価：A

### <検証結果>

事業計画策定後の事業実施及び進捗状況を確認、効果の検証を行うとともに伴走型の助言や指導を行うなど、経営指導員を始め全職員が専門家を交えて自己研鑽を図りながら一丸となって小規模事業者の持続的発展を支援した。また、「商工業担い手支援条例」や「小規模事業者持続化補助金」「美深町快適な住まいづくりと商工業振興補助金条例」等を利用した新たな事業展開に向けた支援を行い安定的な経営を図ることができた。

引き続き定期的なフォローアップを行い、策定した事業計画の遂行状況を把握し、実績とのギャップを分析し新たな経営計画策定を早期に対応する。

## ⑥新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

### <取組内容>

事業計画を策定のうへ、地域外へ販路拡大に意欲的な小規模事業者について、北海道内外の主要都市部で開催された展示・商談会へ出展支援した。出展にあたり経営指導員等が出展前・現地・出展後の支援を行った。また、地域資源を活用した商品を取り扱う事業者を複数出展支援させて相乗的な効果を生み、個者支援のみならず美深町のPRにも繋げることができた。

ITを活用した販路開拓を希望する小規模事業者を対象に、ホームページ、ECサイト等への出展・運用の支援を行った。出展しただけでは消費者には認知されにくいことから、共同広告等への掲載を希望する事業者については、開設したホームページ等の情報も掲載し、売上につながるよう支援した。

・展示会・商談会出展事業者数 (BtoB)	目標： 2件	実績： 3件	評価： A
・販売促進展示会出展事支援事業者数 (BtoC)	目標： 2件	実績： 3件	評価： A
・共同広告掲載支援事業者数	目標： 5件	実績： 9件	評価： A
・IT活用による販路開拓事業者数	目標： 2件	実績： 2件	評価： A

#### < 検証結果 >

地域資源を活用した商品を販売している小規模事業者に対し、札幌圏で配布されているフリーペーパー2紙（J P O 1・ふりっぱー）並びにイベント会場での配布広告、地域内（名寄市など近隣市町村向け）新聞折込広告を活用した共同広告を行った。

また、都圏で開催された「なまらいいっしょ北海道フェア2022」札幌市で開催された「J P O 1祭り」をはじめとした各種展示会及びアンテナショップ「どさんこプラザ」や首都圏で開催された「北海道物産展」等への出展支援を通じて美深町の地域資源特産品の販路開拓と認知度の向上を図ることができた。展示会出店時には職員が同行し、消費者ニーズや商品のマーケット状況についての情報収集を図るためのアンケート調査を実施した。また、バイヤー等へのヒヤリングなどのアプローチや商談支援を行い販路開拓にもつながった。

開催中止になっていた展示会や物産展が再開されてはいるものの、コロナ過で小規模事業者の販路が縮小していることから、需要が高まっているオンラインを活用した販路開拓を支援した。オンラインの販路開拓として、ECサイトを活用した販路拡大事業を実施し、専門家からのアドバイスを受けながらECサイトを開設し、既存のホームページ及び広告媒体からECサイトへの誘導を行い、閲覧数の増加と販路拡大につなげるよう支援した。

### ⑦事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

#### < 取組内容 >

経営発達支援計画に記載の事業実施状況及び成果について、外部有識者を交えて検証及び評価、改善を図る。

- ・事務局による検証
  - ・経営発達支援委員会の評価・検証及び理事会での評価・見直し
  - ・事業の結果報告及び公表
- ・本年度実績 評価： A

### ⑧経営指導員等の支援能力向上の取り組み

#### < 取組内容 >

内部機関及び外部機関主催の研修会へ積極的に参加し、知識の習得及び支援能力の向上を図った。また、それらによって吸収した支援スキルを、職員間で共有する仕組みを構築した。

- ・本年度実績 評価： A

#### < 検証結果 >

職種別の研修及び職場内研修の実施により経営課題の把握と問題解決に向けた事業計画策定による小規模事業者の持続的な発展を行うために必要なスキルと高度な知識・技能・支援ノウハウを習得した。これらの取り組みで習得した支援ノウハウについて経営カルテシステムを活用して職員間で共有することにより、小規模事業者の抱える諸課題解決に迅速に対応できるよう全職員でチームによる一貫した支援体制を整えた。

引き続き課題解決に向け商工会職員の能力向上を図り、支援を継続して実施する。

### ⑨他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

#### < 取組内容 >

関係支援機関との情報交換を積極的に推進し、小規模事業者に対する総合的な支援体制の確立を図り、経営分析、事業計画策定や需要開拓及び販路開拓に関する高度な専門的ノウハウを習得した。

- ・ 本年度実績 評価：A

#### < 検証結果 >

事業承継及び廃業支援を効果的に行うための手法について中小企業診断士との懇談を行い、支援機関としての連携を通じて新しい施策の情報や支援に対する取り組み事例などの情報を交換し、事業計画の策定・実施や販路開拓等につながるようなノウハウを吸収した。

日本政策金融公庫旭川支店との連携を通じてマル経融資や各種制度融資の活用による小規模事業者の金融支援対策についての情報を交換した。

美深町・中川町・音威子府村商工会が連携している天塩川中部商工会広域連携協議会等を通じて支援のノウハウ、支援の現状、問題解決手法について情報交換を図った。

引き続き外部機関との情報交換によってノウハウを吸収して支援能力向上を図る。

### ⑩地域経済の活性化に資する取組み

#### < 取組内容 >

小規模事業者による商店街づくりや賑わいづくりを推進して地域の活性化を図るとともに、新規創業を通して移住定住の促進を行い町内人口の維持を目指すなどの対策を実施した。

- ・ 本年度実績 評価：A

#### < 検証結果 >

美深町が実施している創業者への支援策を活用して新規創業及び雇用の促進による移住定住を促進した。

また、消費の拡大及び飲食店の振興発展を図ることを目的として、各種売出事業・プレミアム商品券発行事業、飲食宿泊業に特化したプレミアム率を増加した商品券発行事業を実施した。

地域資源を活用した新商品の開発及び販路拡大事業として、コロナ過で開催が中止された各種イベントへの出展支援の代わりに、オンラインを活用した販路開拓支援を行った。

#### < 検証結果 >

引き続きPDCAサイクルに基づいた評価・検証・見直しを継続実施する。

### (3) 令和5年度事業計画及び予算について

事務局は別紙資料に基づき、伴走型小規模事業者支援推進事業を活用して令和5年度の事業の実施を計画している旨の説明を行った。

### (4) 事業の評価・見直し結果の内容について

評価委員及び外部有識者からの意見は下記の通りである

当年度は「DXセミナー」を行ったようだが、毎年同じ内容でセミナーを行うのも如何か。DXを活用した事業計画の策定や計画見直しを行い、今後の経営に行かす方が良いのではないかと意見があり、DXを含めた幅広い内容でセミナーを行うように事業の見直しを行うこととした。

その他のご意見は特になく、評価委員会を閉会した。